

| | | | | | | | |
|---------------|--|---|--|--------|---------|-------------|---|
| 科目名 (科目番号) | 医療英語 (時間割参照) | 教員名 石垣 明子 | 学科等 | 学部共通 | 選択 | 履修年次 | 1 |
| | | | 曜日・時限等 | 時間割表参照 | | 単位数 | 2 |
| | | | 授業形態 | 講義 | オフィスアワー | 火・5 B323研究室 | |
| 授業概要 | 医療特有の専門用語を用いて英語で会話をしたり、説明をしたりプレゼンテーションする力を育成することを主眼とする。近年、外国人就労者や外国人観光客の増加に伴い、医療機関においても、世界共通の言語として英語でオペレーションする機会が増えてきている。特に、日本に居住する外国人にとって、医療機関で英語を使用して診療について説明し、病状を理解できる医療人は必要不可欠な存在であろう。本授業では医療機関における様々な場面を想定し、実践的な力を養う。 | | | | | | |
| 目的・目標 | 目的:医療の場における患者との会話を英語で行う力を養う。 目標:医療の場における患者との会話を様々な場面でスムーズに行うことができる。 | | | | | | |
| 準備学習 | 毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。 | | | | | | |
| 授業計画 | 回 | 授業項目 | 到達目標・学習内容 | | | | |
| | 1 | 医療現場で求められる英語 | 到達目標:医療人に求められる英語力の水準と場面を理解させる。 学習内容:医療現場で求められる英語の場面を考える。 | | | | |
| | 2 | First visit to hospital 演習場面:初診 | 到達目標:外国人にも理解できるように初診の内容を英語で表現する。 学習内容:初めて病院を訪れた外国人に英語で初診の案内をする。 | | | | |
| | 3 | Physical Complaints 演習場面:病状の把握 | 到達目標:英語で病状の詳細な様子を報告する力をつける。 学習内容:英語で病状の把握をし、診察室へ案内する。 | | | | |
| | 4 | Medical examination 演習場面:問診 | 到達目標:専門用語を用いて、必要な検査について英語で表現する。 学習内容:医師の指示に従って、様々な検査をすることを英語で伝える。 | | | | |
| | 5 | Giving directions 演習場面:院内案内 | 到達目標:実際に学内の施設を英語で案内する力をつける。 学習内容:院内を英語で案内する。 | | | | |
| | 6 | Consultation with a doctor 演習場面:医師の診察 | 到達目標:専門用語をわかりやすく英語で伝える力をつける。 学習内容:検査の結果を英語で伝える。 | | | | |
| | 7 | Emergency 演習場面:緊急医療 | 到達目標:緊急時に必要な医療英語について学習する。 学習内容:緊急時の医療現場を想定した英語の会話を行う。 | | | | |
| | 8 | Hospitalization 演習場面:入院 | 到達目標:入院患者に対する思いやりのある英語力を養う。 学習内容:入院をした患者に対する英語の言葉がけを演習する。 | | | | |
| | 9 | Daily life in hospital 演習場面:入院生活 | 到達目標:入院生活で必要となる英語を学習する。 学習内容:入院生活を送る患者に対して適切な言葉がけを英語で行う。 | | | | |
| | 10 | checking vital signs 演習場面:バイタル測定 | 到達目標:バイタル測定時に必要な英語力を養う。 学習内容:バイタル測定のための英語による演習を行う。 | | | | |
| | 11 | Meal at hospital 演習場面:院内食事 | 到達目標:入院生活の特に食事時における必要な英語力を養う。 学習内容:入院時の食事で必要な英語による演習を行う。 | | | | |
| | 12 | Taking medication, etc, 演習場面:薬の服用など | 到達目標:薬の服用時や放射線検査時などに必要な英語を学習する。 学習内容:薬の服用時などの患者に必要な医学的配慮を英語で表現する。 | | | | |
| | 13 | Being discharged from hospital 演習場面:退院 | 到達目標:退院時に配慮すべき事柄について必要な英語を学習する。 学習内容:退院時に必要な英語による演習を行う。 | | | | |
| | 14 | アメリカの医療現場における英語 | 到達目標:アメリカの臨床現場の実際と必要な英語力を理解する。 学習内容:アメリカの臨床現場における英語を学習する。 | | | | |
| 15 | 今後の医療と英語(まとめ) | 到達目標:グローバル社会における医療英語の必要性を理解する。 学習内容:グローバル社会における必要な医療英語について考える。 | | | | | |
| 成績評価の方法・基準 | 対面時およびオンライン時:毎時の演習課題(50%) + レポート課題(50%) | | | | | | |
| 教科書 | 毎時プリントを配布します | | | | | | |
| 参考図書 | | | | | | | |
| 教員からのメッセージ | 対面時の場合は、授業でスマートフォンを使用しますので、十分に充電してきてください。また、プリントを配付しますので、A4サイズのノートを準備してください。毎時の演習課題、レポート課題の評価については、別途評価表(ルーブリック)を授業で提示します。 | | | | | | |